

有限会社 哲宝  
伊東てつし

今回、中央宝石研究所、リサーチ室 江森健太郎氏の『Be 拡散加熱処理コランダム JGS 勉強会』を YouTube で拝見させて頂ける機会をいただき、とてもありがたく感謝しております。

普段から『CGL 通信』の印刷物には目を通してはいるつもりではありますが、モニターを通して、音声にて理解しやすく解説して頂ける事がこんなにも素晴らしい事かと改めて感じましたし、様々考えさせられる思いでした。

そして、この、19 年間続く Be 処理に対する研究機関の方々のご苦勞と、現状の研究報告に改めて感謝するしだいです。

Be 処理コランダムと言いますと、実際のマーケットでは同じ業界におりましても、お国柄、業者の考えや製作する商品、販売方法、エンドユーザーのニーズ等によりまして 180 度異なる思いがあるかと思われまます。

『Natural しか扱いたくない』と言う業者にとりましては、毛嫌いする処理石でしょう。(私はこちらに含まれます)

方や近年、海外など特に『カラーサファイアやファッション性のニーズ』も強く、若いデザイナー・企画者等に取りましては、安く、面白く、美しく提供される頼もしい素材と言える事なのでしょう。

当然これらの業者が処理石と理解した上で扱う製品は、Be 処理看破を求めて LA-ICP-MS を使用した鑑別依頼を出す必要性が無いのだと思われまます。

それも時代の 1 つなのでしょうが、ただ、19 年前からの Be 処理の出来事を体験していない若い業者の方々には、戒めの 1 つとしてでも、昔からの流れも理解して頂きたい等と個人的には思ってしまうます。

私自身の仕事で言えば、サンプル石やディスプレイは除き、基本的にコランダムは Natural もしくは低温加熱と私自身で判断出きる物のみ扱う、怪しい石は扱わないとして、買い付け卸し小売りを行ってまいりました。その為、毛嫌いする Be 処理の最新情報をわざわざ自分から得よう等と思う機会も少ないのが事実でした。

しかし、今回の勉強会での中央宝石研究所における鑑別依頼の現状や、ナノインクルージョンにおける Be と Hf(ハフニウム) Nb(ニオブ) Ta(タンタル)と言った、普段ならば記憶にも残らない元素との関連を含め、研究の現状と成果をお聞かせ頂きましたのはとてもためになる良い経験でした。

コランダムを、宝石なりアクセサリーの材料なり、魅力のある物として扱うマーケットがある限り、現行の Be 拡散加熱処理はもとより、更なる新たな加熱機器技術の発達、Be のみならず他元素のドーピング等、ラボの看破の目をくぐろうと、処理石を産み出す方々は、更なる宝の山を作り出そうとする事でしょう。

ラボが看破出来なくては、その処理石が、普通のあたり前の宝石の一部になってしまう。  
又、看破出来ても、その処理石を普通のあたり前の宝石として業者が扱えば、研究機関の  
せっかくの努力はある意味、無意味な事となってしまいます。

流通、販売にたずさわる、我々一般業者の知識と消費者に対するモラルが、この先、宝石業  
界が生き残る為に大切な事だと改めて考えさせられました。

新型コロナや様々な問題に世界が直面する中、研究者の方々におかれましては、Be 処理 1  
つにおきましても、加熱するつぼの課題や、世界的な統一性など様々な問題と研究テーマが続  
く事と思われまます。

そんな折、今回の中央宝石研究所 江森氏によるご協力、勉強会の制作等、大変な作業と思  
われますが、我々業者へのより正しい情報の開示として、とてもありがたい勉強会でした。

拝見させて頂きました事にとっても感謝しております、本当にありがとうございました。